

# 緑の街並み推進事業 必要書類の書き方について

緑の街並み推進事業にて提出が必要な資料は以下の9点です。

- ① 長久手市都市緑化推進事業補助金交付申請書（様式1-1号）
- ② 事業計画書（様式第1-2号）
- ③ 緑化工事の見積書
- ④ 緑化面積求積図
- ⑤ 植栽数量根拠図
- ⑥ 施設平面図
- ⑦ 施設構造図
- ⑧ 位置図・公図・仮換地図等
- ⑨ 着工前写真

申請内容によっては追加で資料を頂く場合がございます

- ①長久手市都市緑化推進事業補助金交付申請書（様式1-1号）
- ②事業計画書（様式第1-2号）

書式内には交付金の申請額や交付対象となる緑化施設の内訳等を記載する項目があります。交付金額や対象物の可否などは計算が難しいため、事前に③～⑨の資料をご準備頂き、メール（midori@nagakute.aichi.jp）、郵送または窓口までご提出ください。見積書や図面の内容を元に交付金を算定し、交付金額が分かり次第ご連絡致します。その後金額等をご記入の上ご提出ください。

## ③緑化工事の見積書について

可能であれば緑化施設または外構工事のみの見積書をご用意頂けると助かります。植栽の為の散水栓や立水栓、土壌改良費や花壇（移動可能なプランターは対象外）等も対象となります。  
必ず“表示板”の設置が必要です。表示板の費用については全額補助対象になるため、見積書に記載してください。（表示板の詳細については⑦で後述）  
植栽については・樹種名・高さ・本数or株数・値段を樹種ごとに分けて記載してください。

### その他主な留意事項

- (1) 地被類は16株/m<sup>2</sup>以上の密度で植栽すること。  
ただしセダム、タマリユウ、ジャノヒゲは36株/m<sup>2</sup>以上
- (2) 芝生は7分張り以上を標準とする。人工芝は対象外
- (3) 1～2年草は対象外
- (4) 樹高4m以上は15万円/本、樹高4m未満は6万円/本が樹木単価上限

## ④緑化面積求積図について

記載例は裏面参照

各樹種のみなし樹冠面積は以下のとおりです。（運用基準抜粋）  
高木 樹高4m以上 : 13.8m<sup>2</sup>  
中高木 樹高2.5m以上4m未満 : 8m<sup>2</sup>  
中木 樹高1m以上2.5m未満 : 3.8m<sup>2</sup>

緑化面積求積図では「樹木」「芝」「地被類」「その他」に色分けし計上面積を塗りつぶし、植栽ごとにアルファベット等を振り分けてください。  
余白部分にアルファベットとリンクするよう樹種・樹高・本数・面積（重複部分を除く）積算根拠を一覧で記載してください。

### 【その他主な留意事項】

面積は水平投影面積のため、植栽の重複部分や見なし樹冠が敷地外へ出る場合はその部分の面積について計上できません。  
建築物等に重なる場合も計上できませんが、樹高が建築物より高いのであれば計上可能です。  
④に限らず全ての図面に方位記号を記載してください。

## ⑤植栽数量根拠図について

記載例は裏面参照

緑化面積求積図と図面は同じですが、余白部分にアルファベット・樹種・樹高・本数or株数（地被植物）or面積（芝のみ+重複部分を含む面積）を一覧で記載してください。  
※地被植物等の積算方法について必要に応じて三斜法等を用いて下さい。

樹種以外の芝や地被植物については、種類・株数・面積を同様に記載してください。  
⑥施設平面図を作成されない場合はこの図面に“表示版”の平面図（位置）を記載して下さい。

## ⑥施設平面図について

散水栓や立水栓、園路等の植栽以外の補助対象物がある場合は、着色していない④または⑤の図面に散水栓や立水栓の位置及び配管を記載し着色してください。

表示板の平面図（位置）もこの図面に一緒に記載してください。

## ⑦施設構造図について

表示板、散水栓、立水栓、園路等の植栽以外の補助対象物がある場合は構造図もご提出ください。表示板については材質やサイズ、文面の案も記載してください。

表示板…緑の街並み推進事業では、公衆の目につくところに「事業が完了した年月」「申請者名または申請団体名」「森と緑づくり税を財源として事業を実施した旨」が記載されている看板の設置が必要です。（申請者名は個人の場合のみ省略も可能）  
看板サイズはA4以上とし、材質は耐候性、耐久性に富んでいるものとする。

記載文例）「あいち森と緑づくり税を財源とする「緑の街並み推進事業」により空地緑化を行いました。 令和〇年〇月 申請者〇〇〇〇」

## ⑧位置図・公図・仮換地図等について

事業を実施する場所の分かる公図や位置図が必要です。  
区画整理事業地内等のまだ登記が終わっていない場所及び換地後の地番が不明な場合は、仮換地図を添付してください。

## ⑨着工前写真について

植栽を植える場所や散水栓、立水栓を設置する場所の着工前写真が必要です。撮影した方向を別途図面へ記載し、撮影した写真とリンクするように番号を振ってください。

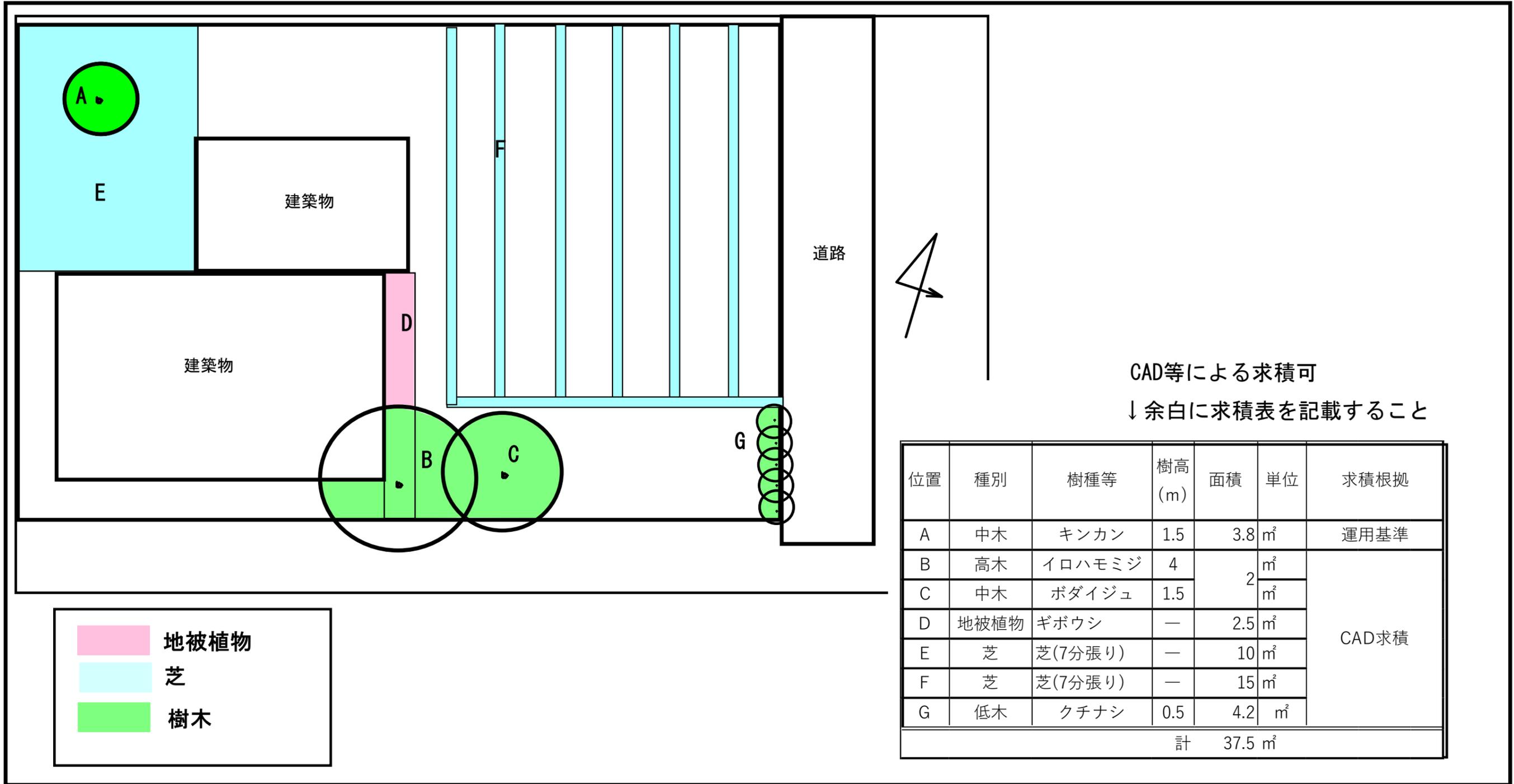
## その他注意事項

事業完了後には実績報告書が必要です。その際に添付する完了写真には、植栽の写真だけでなく、看板写真（A4サイズ以上であることがわかるように）や散水栓、立水栓及び不可視部分（埋めてしまう配管、すき取りの量、土壌改良した厚さなど）の写真が必要になります。特に不可視部分については後から撮影ができない部分のため、工事中に撮影が必要ですのでご注意ください。

着工の1ヶ月～2ヶ月前までには事前にご相談頂くことを推奨しています。

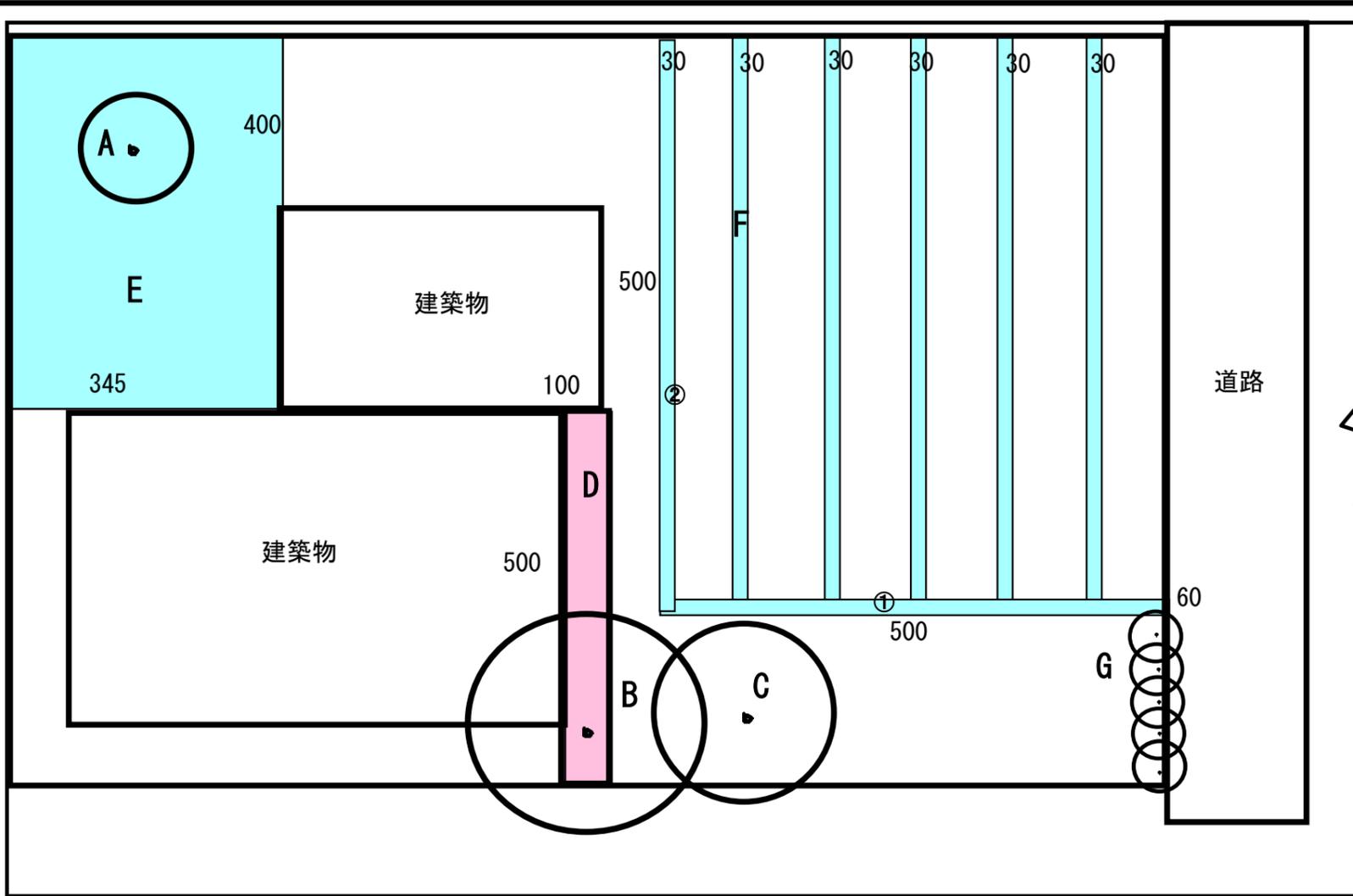
連絡先）〒480-1196 長久手市岩作城の内60-1 みどりの推進課緑化推進係  
Tel0561-56-0552 ✉midori@nagakute.aichi.jp

④緑化面積求積図の記載例



**間違えやすいポイント**  
 求積図は重複部分を除いた面積。数量根拠図の芝については重複部分を含む面積を記載すること。  
 地被植物は基本16株/m<sup>2</sup>以上の密度とすること。ただしセダム、タマリユウ、ジャノヒゲは36株/m<sup>2</sup>以上。  
 不足する場合は緑化面積計上対象外になります。

⑤植栽数量根拠図 の記載例



敷地面積、建築面積または外構面積を記載すること

植栽数量根拠図の場合は樹木への着色は不要です。地被植物や芝には着色してください。

CAD等による求積不可なので注意  
余白に数量計算表を記載すること  
↓



位置	種別	樹種等	樹高 (m)	数量	単位	数量根拠
A	中木	キンカン	1.5	1	本	
B	高木	イロハモミジ	4	1	本	
C	中木	ボダイジュ	1.5	1	本	
D	地被植物	ギボウシ	—	5	m <sup>2</sup>	1×5=5m <sup>2</sup>
E	芝	芝(7分張り)	—	13.8	m <sup>2</sup>	4×3.45=13.8
F	芝	芝(7分張り)	—	15	m <sup>2</sup>	①5×0.6=3
						②5×0.4×
						計
G	低木	クチナシ	0.5	5	本	

**間違いやすいポイント**  
 求積図は重複部分を除いた面積。数量根拠図の芝については重複部分を含む面積を記載すること。  
 地被植物は基本16株/m<sup>2</sup>以上の密度とすること。ただしセダム、タマリユウ、ジャノヒゲは36株/m<sup>2</sup>以上。  
 不足する場合は緑化面積計上対象外になります。